

第4回地区庶務担当理事連絡協議会

と き 7月16日(土) 午後5時

ところ 京都ホテルオークラ

△森会長挨拶

森府医会長は冒頭、法人制度改革によって役員改選が6月に行われる地区も多いことから、この時期に新旧庶務担当理事連絡協議会を開催していることを説明した上で、府医の円滑な会務運営に向けて、引き続き協力を求めた。

また、新専門医制度や地域医療構想等の大きな課題が山積しており、医療と介護の連携、多職種との連携も大切になってくることから、地区庶務担当理事連絡協議会では、的確な情報を伝えていくとの姿勢を示すとともに、庶務担当理事は、地区医の会務において重要な柱であるとして、これからも地区医から上がってきた忌憚のない意見をお聞かせ願いたいとして挨拶を締めくくった。

△報告ならびに協議事項

1. 庶務関係連絡事項について(谷口理事)

「地区医師会長への連絡依頼事項」を各地区に配布し、諸手続きについて協力を依頼した。

2. 「医療機関(病院、診療所)の名称についてのガイドライン」について(谷口理事)

京都府・京都市に対して、「医療機関(病院、診療所)の名称についてのガイドライン」にそぐわない医療機関名称で開設手続きが行われないようとした際には、地区医、府医へ事前に相談するように要望したと報告した。地区には、ガイドラインに沿って新規開業の会員に説明を行っていただきたいとして協力を呼びかけた。

また、鍼灸等においてもリハビリ等の誤解を招く名称を標榜している機関があるとの意見に対して、届出と標榜が違う場合もあり全てを把握できていない場合もあるが、現在は規制する法律はないとしながらも、今後検討を行うとの意向を示した。

3. 最近の中央情勢について(米林理事)

6月下旬から7月上旬にかけての社会・医療保険状況について、支払基金の報告や18年度同時改定の話題を中心に説明した。

4. 3種混合ワクチン（DPT）について（禹理事）

厚生労働省と日医から、3種混合ワクチン（DPT）について、平成28年7月15日をもって有効期限切れになる旨の連絡があったことを報告。各医療機関で在庫の確認を行い、適正に対応していただくよう周知を呼びかけた。

5. <京都市>在宅医療・介護連携推進事業に関する実態調査について（北川副会長）

京都市が行った「在宅医療・介護連携推進事業に関する実態調査」のアンケート締切日が近づいているため、アンケートの提出に協力していただくよう再度周知を依頼した。

6. 第42回京都医学会について（小野理事）

今回の京都医学会での特別講演とシンポジウムの内容を紹介し、多数の参加を募った。

7. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

8・9月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。

8. 「今の医療、こんなで委員会」公開委員会について（米林理事）

「認知症を考える～受診と告知のタイミング～」をテーマに公開委員会を行うことを紹介し、奮ってご参加いただくよう依頼した

9. 水銀血圧計等回収事業について（谷口理事）

京都府保健事業協同組合から、アンケートの回収結果と事業計画書(案)について詳細な説明が行われた。

地区医にご意向を伺うアンケート内の回収不可能な日を記入する欄について、多数の地区から質問が挙がり、「回収不可能な日をご記入いただきたいが、多すぎるようであれば、回収可能日をご記入いただいても問題はない」との回答を行った。回収業者の回収作業にかかる時間については、「事前に地区にて電子マネIFESTに回収個数の入力をしていただき、回収作業員が持参する携帯端末の内容で間違いがないか確認し承認を行っていただくため、搬出作業も含めて、作業は30分程度と見込まれる」と回答した。

次に、JWNETの加入についての質問に対して、「今回の事業のみに適応することを環境省より承認を受けており、登録を地区にお願いすることになる」と説明、週明けに送付する書類の返送を要請した。

また、アンケートで回答した回収個数を変更する場合の手続きについての質問には、「近く申込医療機関にFAXにて現在の把握状況をお知らせするが、実際の回収時にも個数確認を行うため、増減しても問題はない」と説明。同時に、各医療機関に行ったアンケート結果である回収予定数量の一覧表を地区医に送付する旨を付け加えた。

最後に、体温計や血圧計以外でその他に該当する回収対象物や、大型の水銀血圧計の取

扱いについては、水銀の容量に応じた金額で対応するが、実物により業者が個別に判断することになると説明し、理解を求めた。

10. その他

京都市内で発生した結核の集団感染について（禹理事）

京都市保健所（担当：保健医療課）より、7月15日付文書にて、「市内の高齢者施設の入所者が結核を発病し、当該施設の他の入所者と施設職員等が結核に集団感染する事例が発生した」との報告を受けたことを明らかにした。

初発患者は、80歳代の女性で、市内高齢者施設に入所中の今年3月上旬、結核以外の疾患で入院した際に諸症状がみられ結核と診断されたとの経緯を説明。同施設の入所者および施設職員等計75人に対し、感染および発病の有無の確認のため、健診を実施した結果、発病者（初発患者除く）3人と、発病に至っていない感染者6人が確認されたとし、発病者と感染者は適切な治療を受けており、新たな感染拡大は確認されていないと報告した。

11. 地区からのご意見・ご要望

なし。